

令和元年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

I 法人の概況

1 設立年月日

平成16年8月16日

2 定款に定める目的（第3条）

岐阜県産農畜産物の安全性の確保、安心感の向上及び県民の健康増進に関し必要な検査、調査、研究及び啓発を行い、もって県内農畜産業の健全な発展に寄与する。

3 定款に定める事業内容（第4条）

- (1) 残留農薬分析、土壌分析、米食味分析その他分析検査事業
- (2) 健康増進に関わる農畜産物の研究開発事業
- (3) 岐阜県産農畜産物の情報提供、普及啓発事業
- (4) その他目的を達成するために必要な事業

4 所管官庁に関する事項

岐阜県（農政部農政課）

5 会員の状況

種類	区分	当期末	前期末比較増減
正会員	団体	11団体	—
賛助会員	団体	5団体	—
	個人	—	—
合計	団体	16団体	—
	個人	—	—

6 事務所所在地

岐阜市宇佐南4丁目11番5号

7 役員等に関する事項

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	現職
理事長	桑田 博之	非常勤	学識経験者
理事	平工 孝義	非常勤	学識経験者
理事	櫻井 宏	非常勤	ぎふ農業協同組合代表理事組合長
理事	駒屋 廣行	非常勤	飛騨農業協同組合代表理事組合長
理事	足立 能夫	非常勤	全国農業協同組合連合会岐阜県本部運営委員長
理事	渡邊 正信	非常勤	岐阜県農政部長
理事	前澤 重禮	非常勤	国立大学法人岐阜大学応用生物科学部教授
監事	松永 政人	非常勤	岐阜県農業協同組合中央会専務理事
監事	西村 寿文	非常勤	全国農業協同組合連合会岐阜県本部長

- ・理事：現在数7人（定款第21条第1項第1号による定数は4人以上10人以内）
- ・監事：現在数2人（定款第21条第1項第2号による定数は2人以内）
- ・任期：2年（令和元年6月28日～令和3年6月の通常総会終結時）

8 職員等に関する事項

(令和2年3月31日現在)

職員の区分	人数	備 考
職 員	7名	管理部門2名、事業部門5名
嘱 託 員	一名	
出向職員	1名	全農岐阜県本部から出向
計	8名	

9 許認可に関する事項

該当無し

II 事業の状況

1 農産物の安全性確保及び品質向上に関する業務

(1) 残留農薬分析業務

ア スクリーニング分析（多成分一斉分析）

(ア) 分析件数

J Aグループの自主検査対応を主体とする会員からの受託については、ほぼ計画どおりの実績となった。

区分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀 類	150件	142件	94.7%	137件	103.6%
会員	147件	139件	94.6%	135件	103.0%
一般	3件	3件	100.0%	2件	150.0%
園芸作物	700件	703件	100.4%	694件	101.3%
会員	697件	702件	100.7%	692件	101.4%
一般	3件	1件	33.3%	2件	50.0%
合 計	850件	845件	99.4%	831件	101.7%
会員	844件	841件	99.6%	827件	101.7%
一般	6件	4件	66.7%	4件	100.0%

(イ) 分析品目数

年間72品目の分析を行った。(うち5品目は新規品目)

現在137品目の分析が可能となっている。

分析件数	品 目 名
50件以上	玄米、トマト、ほうれんそう (3品目)
10～49件	苺、かき、茶、なす、きゅうり、ねぎ、小松菜、枝豆、だいこん(根)、小麦、たまねぎ、じゃがいも、さといも、ブロッコリー、人参(根)、ピーマン、キャベツ (17品目)
10件未満	未成熟ささげ、かぼちゃ、日本なし、さつまいも、みずな、しゅんぎく、伏見甘長とうがらし、なばな、白菜、未成熟そら豆、未成熟いんげん、栗、しいたけ、モロヘイヤ、大麦、ぶどう、みかん、もも、いちじく、メロン、サンショウ(実)、ふき、チンゲン菜、やまのいも、にがうり、未成熟とうもろこし、にんにく、オクラ、だいこん(葉)、レタス、ズッキーニ、かぶ(根)、かぶ(葉)、りんご、ごぼう、とうがらし、アスパラガス、まくわうり、つるむらさき、生茶葉、スナップエンドウ、だいず、ししとう、キウイフルーツ、とうがん、キクイモ、もりあざみ、なつみかん、ビタミン菜、にら、 粳穀、レモン (52品目)

(ウ) 分析結果

ほぼ前年実績と同様の検出値報告事例数となっている。

(前年実績 59件(7.1%))

区分	全 体	内 訳	
		検出あり	検出なし
分析試料数	845件 (100%)	64件 (7.6%)	781件 (92.4%)
報告成分数	244,069成分 (100%)	74成分 (0.03%)	243,995成分 (99.97%)

イ 単成分分析

単成分分析は、スクリーニング分析結果による追跡調査など、特別な目的を持って行う分析であることから、年度毎の変動要素が大きく、今年度は計画・前年実績とも上回った。

区分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀 類	30 件	40 件	133.3 %	40 件	100.0 %
園芸作物	30 件	26 件	86.7 %	53 件	49.1 %
その他	30 件	67 件	223.3 %	17 件	394.1 %
合 計	90 件	133 件	147.8 %	110 件	120.9 %

(2) かび毒分析業務

受託がなかった。

区分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
小麦他	5 件	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %

(3) 土壌分析業務

穀類対象、園芸対象とも分析数は前年より減少したが、年度毎の変動要素が大きいため、特異な理由を認めるものではないと考えられる。

区分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀類対象 3項目	100 件	75 件	75.0 %	90 件	83.3 %
園芸対象 7項目	700 件	748 件	106.9 %	799 件	93.6 %
合 計	800 件	823 件	102.9 %	889 件	92.6 %

(4) 米食味分析業務

受託状況は計画を下回ったが、前年実績とほぼ同程度であった。

区分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
玄 米	250 件	195 件	78.0 %	194 件	100.5 %

(5) その他分析業務

玄米のDNA及びカドミウム分析については、アウトソーシングにより実施しており、計画どおりの実績であった。

区分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
DNA	100 件	100 件	100.0 %	101 件	99.0 %
カドミウム	100 件	100 件	100.0 %	101 件	99.0 %

2 農畜産物の認定、認証及び調査に関する業務

○ 特別栽培米生産管理工程確認の評価業務

前年度に引き続き、ぎふ特別栽培米取扱要領に基づく生産管理工程の確認業務について、全農岐阜県本部より諮問を受け、その評価業務を実施した。

<評価業務内訳>

実施日	評価対象工程
H31.4.4	平成31年産ぎふ特別栽培米確認申請書検証工程
R1.10.7	令和元年産ぎふ特別栽培米精米・玄米袋表示原簿作成工程、変更申請書承認工程、及び栽培記録検証工程
R1.11.29	令和元年産ぎふ特別栽培米栽培記録検証工程
R2.3.24	令和2年産ぎふ特別栽培米確認申請書承認工程

3 健康増進に関わる農産物及び食品の開発・研究等に関する業務

(1) 病虫害防除及び除草目的に使用された農薬の環境への影響調査

(ア) 研究の目的と実施方法

消費者の農薬に対する不安を軽減し、農薬の適正使用を促すことを目的に、昨年度に引き続き県農業技術センターとの共同研究として実施した。

イ 令和元年度の研究内容

- 水田で使用される農薬の環境影響については、無人ヘリコプターによる空中散布など、これまで主に広範囲に飛散する恐れのあるものに注意が払われてきた。

一方、イネ箱施用剤は周辺への飛散がなく、環境負荷の少ない省力的な防除法とされているが、その長期残効性に対して不安視する声もあり、イネ箱施用成分の施用後の挙動については、明らかにされていない点が多い。そこで、今後の農薬使用指導に資するため、イネ移植時に施用した農薬の挙動についての調査研究を行った。

- 具体的には、プリンス粒剤（フィプロニル）を箱使用し、水田に作付けた後、田面水及び土壌中、玄米、稲わらのフィプロニル残留量を測定し、その挙動を把握した。

ウ 実績等

- ・ R01. 11. 21 日本農薬学会主催の第37回農薬環境科学研究会（岡山県倉敷市で開催）において、ポスター発表を実施した。
- ・ R02. 03. 09 日本農薬学会第45回大会（大阪府立大学中百舌鳥キャンパスで開催）において研究発表する予定であったが、学会が中止となった。
なお、日本農薬学会誌に論文を投稿した。

(2) ISO/IEC17025認定取得事業

ア 事業の目的

2020年東京オリ・パラ大会を契機として国際水準GAPに取り組む農業者が増加する中、ISO/IEC17025認定を取得した試験所は、国際水準GAP認証取得のための残留農薬分析に対応可能となる。

当センターは残留農薬自主検査に対応した分析機関であり、ISO/IEC17025認定を早期に取得することで、県内農業者の国際水準GAP認証を促進することに寄与するものである。

イ 令和元年度の事業内容

平成30年度からの継続事業として、ISO/IEC17025の認定に向けた予備審査及び本審査を経て、ISO/IEC17025の認定取得を目指し、以後その役割を担うものである。

ウ 実績

令和元年5月23日に予備審査、7月24日～26日の3日間本審査を受け、令和元年9月24日付けで認定を取得した。

4 岐阜県産農産物の情報提供・啓発に関する業務

(1) 普及啓発業務

県内外からの視察研修の受け入れを行い、センターの活動を中心とした県内産農産物の安全性の確保・安心感の向上に向けた取り組みについて、継続して普及啓発を行っている。

令和元年度実績は下記のとおりであるが、県外では山梨県の果樹農家グループ（7名）の視察を受け入れた。

○令和元年度実績

区 分	県 内		県 外		計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
JA・生産者関係	1 件	6 名	1 件	7 名	2 件	13 名
行政関係	1 件	3 名	0 件	0 名	1 件	3 名
その他	1 件	5 名	0 件	0 名	1 件	5 名
小 計	3 件	14 名	1 件	7 名	4 件	21 名

(2) 情報提供業務

インターネット上にホームページを公開し、業務の紹介とぎふクリーン農業に関する情報の提供及び経営状況等の最新の情報を開示している。

また、事務局窓口には各種資料を備え置いて閲覧に供することにより、会員はもとより一般のお客様へのサービス向上にも努めている。

5 会議に関する事項

(1) 総会の開催

- ・第43回通常総会

(ア) 開催日：令和元年6月28日

(イ) 開催場所：県農協会館2階 大会議室

(ウ) 議 事：平成30年度事業報告、決算報告、任期満了に伴う役員の選任
公益目的支出計画実施報告書の報告

- ・第44回臨時総会

(ア) 開催日：令和元年12月3日

(イ) 開催場所：県農協会館4階 全農岐阜役員会議室

(ウ) 議 事：令和元年度収支補正予算

- ・第45回臨時総会

(ア) 開催日：令和2年3月3日

(イ) 開催場所：県農協会館4階 全農岐阜役員会議室

(ウ) 議 事：令和2年度事業計画、収支予算 他

- ・第46回臨時総会

(ア) 開催日：令和2年3月30日

(イ) 開催場所：決議の省略

(ウ) 議 事：理事1名選任

(2) 理事会の開催

- ・第1回理事会

(ア) 開催日：令和元年6月11日

(イ) 開催場所：県農協会館2階 信連役員会議室

(ウ) 議 事：平成30年度事業報告、決算報告、公益目的支出計画実施報告書の承認、第43回通常総会の開催

- ・第2回理事会

(ア) 開催日：令和元年6月28日

(イ) 開催場所：県農協会館2階 大会議室奥応接室

(ウ) 議 事：理事長（代表理事）の選定

- ・第3回理事会

(ア) 開催日：令和元年10月28日

(イ) 開催場所：県農協会館6階 中央会役員会議室

(ウ) 議 事：令和元年度収支補正予算、第44回臨時総会の開催、職務の執行状況報告（令和元年度上期事業報告）

- ・第4回理事会

(ア) 開催日：令和2年2月4日

(イ) 開催場所：県農協会館2階 信連役員会議室

(ウ) 議 事：令和2年度事業計画、会員別負担金、役員報酬、収支予算、諸規程の改正、臨時総会の開催、重要な使用人の選任、職務の執行状況の報告（令和元年度事業実施見込み）

- ・第5回理事会

(ア) 開催日：令和2年3月26日

(イ) 開催場所：決議の省略

(ウ) 議 事：理事長（代表理事）の選任、第46回臨時総会（決議の省略）の開催